



11月25日(土)、市民会館で『第4回登別市親子文化祭』が開催され、紙ねんどや竹などを材料にした『親子おもしろ工作コーナー』や、子どもたちが忍者やお姫さまにふん装する『ちびっこ広場コーナー』など、さまざまな催しが行われました。

中でも、『親子おもしろ工作コーナー』の紙ねんど工作(写真)では、両手を紙ねんどで真っ白にしなが、テレビのキャラクターなどを楽しそうにする親子の姿が見られました。



特集  
2001年の私  
前略



## 登別市議会議長

まつ やま てつ お

# 松山 哲男

明けましておめでとうございます。

市民のみなさまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、議会活動につきまして、特段のご理解とご協力を賜り、お礼と感謝を申し上げます。

いよいよ21世紀を迎えましたが、私たちの周りに目を向けると、経済、教育、文化など各分野にわたって従来では考えられなかった状況が生じ、新たな価値観やシステムが求められています。

このような中、我が国では中央省庁の再編や地方分権の推進により、新しい時代に向けた中央・地方のシステムが築かれようとしています。

特に、地方自治体は、自己判断と自己責任が求められ、市民・行政・議会の三者が一体となって、自主・自立のまちづくりを進めていくことがますます重要になってきています。

登別市議会としては、開かれた議会、見える議員活動を目指し、明るく希望に満ちた活力ある「ふるさと登別」を築くため、議会の機能と権能を十分発揮して、全力を尽くす決意でありますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

この一年が、みなさまにとってよりよい年になりますよう、心からお祈り申し上げます。



## 登別市長

うえ の あきら

# 上野 晃

新年明けましておめでとうございます。

市民のみなさまには、新世紀の輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申しあげます。

旧年は、市制施行30周年と西暦2000年の記念すべき年として、市民のみなさまが中心となって記念事業や行事が一年を通して行われました。

このみなさまのまちづくりのエネルギーを大切にし、21世紀の新たなまちづくりにまい進してまいりたいと思います。

さて、21世紀の新たな時代を迎えるとともに、地方分権時代の到来により、国や地方も大きな転換期を迎えています。

地方分権時代のまちづくりは、市民と行政が同じ情報や認識を持ち、信頼関係を築いていかなければなりません。このため、より積極的な情報の提供に努めるとともに、市民のみなさまが市政に関する情報をいつでも自由に見ることのできる体制を整え、協働でまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

本年も、ご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、みなさまにとって21世紀の最初の年が、幸多い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。





特集

# 前略 2001年の私

西暦2001年1月1日、新世紀の幕開けです。

みなさんは、この21世紀にどんな夢や目標をもっていますか。

今号では、2001年や21世紀を迎える自分への激励、仕事、世相、家族、趣味、市政などをテーマに、市民のみなさんから寄せられた「手紙」を『前略 2001年の私』と題して紹介します。

「手紙」には、2000年を振り返って楽しかったことや悲しかったこと、21世紀にせひしたいことなど、さまざまな思いがつつられています。

みなさんにとって、2001年はどんな年になるのでしょうか。

※写真は、2000年の『広報のほりべつ1日号』の表紙



特集

# 真

心を持って  
21世紀を  
生きる

娘婿の両親が、2000年10月の末に小樽から引越してきました。

二人とも70歳を過ぎた高齢者にもかかわらず、何十年も住み慣れた土地を離れ、親しい人たちとも別れてくるときには、相当な勇気と覚悟が必要だったと思います。

息子たちの近くに来たかったのと、雪の少ない所に住むのが楽しみなのだそうです。

小樽は雪が多く、老いの身には除雪が年々つらくなつたと言っていました。

登別市に来て、早速、市役所・銀行、病院などを確認し、転入手続きなどをしておりました。息子のそばに来て、もなるべく迷惑をかけずに自立して生

活をしたいそうです。

私もこの老夫婦を見習って、何事も面倒がらずに行動するつもりです。

これからますます高齢化社会になるので、若者のお荷物にならずに、健康に注意をしながら、真心をもって21世紀を生きてゆくように頑張りたいと思います。

(幌別町／67歳 池田悦子さん)

# パ

ソコンを  
活用して  
21世紀に夢を

高齢者の技能を高めようと、登別市シルバー人材センターによる『パソコン教室』が去る8月、市内の日本工学院北海道専門学校で、60歳以上の会員25人が参加して実施されました。私も「近年、IT時代に備えて、基



▲日本工学院北海道専門学校を会場に行われた登別市シルバー人材センターの「パソコン教室」

本的な操作を習い、ホームページ作成の方法などを修得したい」と希望して受講しました。

講師は、同校の先生、生徒2人が助手で、設備は新鋭のパソコン機器を使用しました。

受講生の大半は初心者ですが、一部、ワープロやパソコンを使用した人もおり、内容は基礎的な操作方法から文章入力、インターネットのアクセス方法など、一日5時間とハードな講義で、昼休みもキーボードに向かい、練習やテープに録音する熱心な人など、さまざまでした。

私は、受講4日過ぎ、夕方、妻に「左眼充血」と言われ、救急病院で診察。翌日、眼科医で診察。遅刻し、受講生に合流。片日の不自由ながら、40時間の講義を終了しました。

閉校式には、最高年齢の私が代表に選ばれ、お礼のあいさつに「講師の諸先生方の温かいご指導と新鋭なパソコンのおかげで、全員が受講証をいただ

## 前略 2001年の私

### 必然の帰結



たけうち  
武内 さやかさん

(若草町／19歳 日本工学院北海道専門学校マルチメディア科1年)

2000年、夢への期待を胸に日本工学院北海道専門学校に入学した私を待ちのぞんでいたもの。それは知識の蓄積という名の感動であった。

コンピュータについての知識など皆無だった。いわば無一物の私だが、コンピュータを介して自分の想像を創造に変える楽しさが生まれるまでの知識を得ることができた。

正直、専門学校に来てまで、これまでに学んできた数学や英語、社会学などがあるとは思っていなかったが、コンピュータで作品を作るあらゆる分野にこれらの基礎的な学問がしっかりと生きてくることがわかり、無駄なものなど何もないのだと実感した。

それは、初めて習う教科への励みにもなってくれたのだ。

そういう意味で2000年は、今までと違う一歩成長した物事の捉え方ができるようになった自分をほめてあげたい。

そして、2001年も現在の自分の考え方に専門知識はもちろんのこと、人間として、大人としてより多くの知識を付加していきたい。

「21世紀は…」という心機一新を図っての言葉をよく耳にするが、私は21世紀を「これから」ではなく、「『これまで通り』土台強固の年」にしたい。

ただし、私はこれを「願望」ではなく、「必然の帰結」だと考えている。





伊藤 彩さん  
(若草町/27歳)

## 前略2001年の私 ゆとりある自立した生活のお手伝いを



私は、介護福祉士として、施設サービスに従事してきましたが、介護保険法の導入とともに、介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格を取得することができたことで、私自身大きな転機があったように思います。

資格取得後、準備認定・居宅支援事業へと携わることになりましたが、毎日が忙しくあっという間に過ぎたように思います。

昨年の4月当初は試用錯誤の繰り返しで、ケアマネジャーとして、高齢者本人や家族の方と接してきましたが、今までには無かった訪問や相談といった仕事の違いから、いろいろな戸惑いや不安も感じていました。

しかし、市の「介護保険室」や「のほりべつケアマネ連絡会」を通じて、地域先輩方との月例勉強会・市民啓発・福祉サービス事業者との交流や、利用者や家族からの声が、私自身の視野を広げるとともに大きな励みとなっています。

介護保険が施行され9カ月がたちましたが、支給限度額・介護保険料負担などで、高齢者やそのご家族の方は、まだまだ不安を抱えています。利用者や家族の声に耳を傾け、一人ひとりにあったケアプランの作成と、地域で暮らす高齢者が、いつまでも住み慣れた家で安心して在宅生活が送れるよう、サービス提供に努めたいと思います。

今後も高齢者の不安や希望を感じ取り、ゆとりのある自立した生活をお手伝いできればと思っています。

## 新年を迎えて

みなさまには、21世紀の夜明けを家族そろって健康でお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、私たち「登別デンマーク協会」会員にとって記念すべき二年でした。市制施行30周年とマリナーパーク開園10周年を記念して、7月にリンゲ・ウイスリンゲ登別友好協会からリズィ

き感謝します。また、私は21世紀の仕事として自分史を作り、兄弟に贈りたい」と結びました。

しかし、パソコンは未熟な私。夢の実現にどう対処しようかと思索を練っています。

(栄町/77歳 山下玉男さん)

会長はじめ、22人が来登され、11日間滞在されました。

延べ17家庭にホストファミリーをお願いし、歓迎会、日本文化や温泉の体験、各種団体との交流、講演会など、盛りだくさんの行事をこなし、お互いの会員にとって思い出深い期間を過ごすことができました。

これも文化交流事業によるデンマークからの青年の訪問や登別市から中学生のデンマーク訪問が定期的に行われていることや、「カムバックサーモン」ではありませんが、一度登別に滞在した方が来日する際に再び登別を訪問してくれることが多いなど、普段からの交流がベースにあること。そして2回にわたって市内のお祭りに協会で屋台を開き、その純益を歓迎基金にしたことと、それを通じて会員同士のきずなが一層強くなったことが大きな要因だ

と思っております。

さて、今年も、協会設立5周年を迎え、会員数も個人・家族会員95人、法人会員12人になり、会としての体制も整いつつあります。これまでは、協会活動を軌道に乗せることと、お互いの協会同士よく知り合う、ということを中心に交流をしてきましたが、この辺でもう一歩踏み込みいくつかのテーマを持ち、意見交換や研究をしていくことが必要かと思っております。

そのような考えを基本に持ちながら、今年、再度リンゲ・ウイスリンゲを訪問する予定でおります。

私たちは、リズィ会長の言葉である「交流の木を根付かせることはできた。これからはその枝をどんどん育てなければならぬ」の実現に向かっていよいよ歩みだします。

(常盤町/56歳 上田俊朗さん)

## 前略2001年の私

「新時代に求めるまちづくり」のテーマにひかれ、大きな期待を寄せて、木枯らしの休日に講演会へと急ぎました。

「世相は時代の大きな変換点に立っています。今は明治維新、戦後改革に続く第3の改革のときです」

講師のこの語りかけに、私ははっと呼び起こされた手ごたえを感じました。しかし、第3の改革をどう私たちが市民は作り上げたらいのでしょうか。暗中模索の心境です。

まず、手がかりとして、行政が、市民にたくさんの学習の場を、話し合いの機会を与えてほしいのです。

そして、私たちは呼びかけに心から

賛同することが大切です。

過去に議会が主催した女性模擬議会がありました。模擬議員の声に行政が真剣に向き合ってくれたことも確かです。素晴らしい成果があったように思います。

議会や行政に善し悪しを言う前に、もっと私たちが認識を高めたいと反省もしています。

手短なところに、議会傍聴という認識を深めるチャンスがあるのです。そして、行政、議会、市民が互いに啓発したいものです。

「人を啓発する」といふ事は、先方で一歩足を此方の領分へ踏み込んだ時に手を出して援ける時に限る」と夏目漱石の書いた言葉があります。

また、茶道の教えの一つに「学・実・道」とあり、学習して実践して道を極めるとあります。

二者が、学習して実践して議論を重ね、そこに信頼関係や協力関係が生まれると私は信じます。

議会の研修会に行われたこの講演会が、私に大きな激励になったことに感謝して、2011年の私にひと筆持ちました。

この素晴らしい登別市に市民がこぞって輝かしい新世紀の第一歩を改革のため、踏みしめたら幸せです。

(中央町/前川和子さん)

## 登別市の将来の姿をみんなで描こう

平成12年6月ごろ知人から、「登別市まちづくりアクションプラン」の市民会議メンバーにとの呼び掛けがありました。初めはためらいましたが、長

年、市民としてお世話になりながら、何のお役にも立っていないことに思い至り、チャレンジしてみることにしました。

まちづくりアクションプランとは、

10年20年後の登別市がどのような姿になっているべきかを示す計画のことで、その中身は土地利用や交通網、都市施設整備の指針となる「都市計画マスタープラン」、街並み景観の形成や自然景観の保全を図るための指針となる「景観形成基本計画」、緑地の適正な保全と緑化の推進を図るための「緑の基本計画」の3つからなっています。

市民会議は年末までに5回開催され、登別市の現状分析、将来の望ましい姿、まちづくりの個別テーマなどについてワークショップ方式により話し合ってきましたが、まだ素案作成のためのトレーニングの段階です。新年度におい



▲平成12年7月5日に開かれた「第1回市民会議」

ては、もっと具体的な内容について検討することになるので、各内容についての知識を深めながら、メンバーの方



かなやま つとむ お  
**金谷鉄男**さん  
(若草町/69歳)

## 私 2001年の略

### 21世紀は清潔で 住みよい町に

昨年は、「ごみ有料化元年」として、ごみ問題で一年が過ぎたといっても過言ではありません。

有料化に伴い、正しい分別法について町内会での説明会や広報紙などで再三周知してありましたが、毎回違反シールの張られない日が無く、私もクリーンリーダーの一員として少しでもお役に立てばと早期より指導してまいりましたが、一向に違反が絶えず、マナーの悪い町内会との指摘をされてしまいました。

それで役員会を開催し、汚名返上と、6月から9月まで、2人から3人が当番で監視することになりました。

当初、監視に対して多くの苦情が出ました。回を重ねるうちにみんなが理解をし、ごみに関心を持ってくださいました。

ごみは、今や地球規模の問題で、私たち大人だけの問題でなく、子どもたちにも関心を持ってもらおうと、町会のさわやが子ども会が中心となり、クリーンリーダーによるごみ講話を実施いたしました。

子どもたちにも分かるようにと、正しい分別方法について、図や絵を見ての勉強会、子どもたちの真剣なまなざしには深く感動いたしました。

昨今は、見違えるほどに違反も少なくなり、町内会の協力のおかげと思っています。

21世紀にはごみの減量と環境の良い町を目指して努力してまいりたいと思います。





▲胆振幌別川上空を飛揚するオジロワシ

々と一緒に努力するつもりです。同時に、全市的にバランスの取れたアクションプラン立案のために、もっと多数の方々に参加されるよう期待しています。

(片倉町/67歳 片山 博(ひろ)さん)

## 21世紀も多くの感動を分かち合っていきたい

カムイヌブリヤやオロフレ山などの白山並みを背景に、快晴の青空の中を豊くらいの大きな翼を広げて帆船するオオワシやオジロワシの雄飛が見られます。

フンペ山周辺では、ハヤブサも加わって、これら3種のレッドデータの絶滅危惧種が、一緒に見られることもあります。

木々の芽吹きをの時期を迎えると、柔らかな新芽にメジロなどの小鳥たちが集まっています。

5月から6月の繁殖の季節になると、川縁や草原から野山まで、野鳥たちのエネルギーに満ちたさえずりがあふれます。

これらの小鳥たちは、1年2カ月くらいの短い命ですので、繁殖環境や渡りの経路の環境が変化すると、たちまち影響を受けます。10%ほどの小さな野鳥が太古の昔から短い命をつなげて、絶えることなく生き抜いてきたことに感銘を覚えます。

身近に住むいろいろな生き物の様子を観察して感動し、その楽しさを多くの人たちと分かち合いたいと思います。(新川町/54歳 伴野俊夫(とんの)さん)

## 母の21世紀への夢

我が家の子ども2人は、和太鼓チーム「颯」に入り、日々努力しています。今はまだ名も無きチームですが、頑張って練習しています。来年は、チーム全員そろいの衣装で、どこかのイベントで心一つに太鼓を打っている姿を思い描いています。たくさんの人の前で打っている子どもたち、打ち込んだ後の拍手、そんな子どもたちを私は横からはっぱをかけ、そしてよくやったとほめてやりたい。そんな2001年になればいいなと思っています。颯という名のとおり、打ち手がさわ

やかな風を起し、聞く人の拍手が追い風となり、大きく羽ばたき努力し、たくさんの人のお力を借りて、颯！登別にありと言われたい。そんな夢をもっています。そんな子どもたちを見守り、応援し続けて21世紀、頑張って生きていきたいです。

(美園町/41歳 菊地みよ子(きくち)さん)

## 自 分史の出版が最大の課題

記念すべき2000年の昨年は、宿願の自分史「昭和生まれが平成をゆく」(統)の原稿を完成させたり、クランタルセンターから無料配布の肥料のおかげで、ミニトマト、ナス、キュウリが大豊作の年でした。

また、各地で噴火や地震が発生し、多くの人が被害を受けました。昨年間を漢字1字で表現するしたら、私は文句無しに「憤」または「併」(企業合併)と書くでしょう。有珠山噴火のときは、伊達の娘と孫が我が家へ一時避難してきて、2、3日で帰っていききました。

今年自分史(統)を出版することが最大の課題です。

今、市内のあちこちらでは排水工事や電柱の移設工事が進められ、西口駅周辺の環境整備も着々と進んでいます。

昨年は、市の「広報のほりべつ」のモニターとして、年間多くのことを学びましたが、今年は市民憲章の精神

が、看板倒れではなく着実に実行されていくことを、市民の一人として心から願っています。

(片倉町/67歳 藤原正敏(とうげん)さん)

## 男女共同 参画社会を目指して

「のほりべつ男女共同参画参画話会」は、21世紀に向けて女性も参画した新しい地域社会づくりを推進するために、個人的・自発的参加者により平成9年設立されました。

これまでの活動内容は、平成9年から10年にかけて学習活動と調査研究活動に力を入れ、平成11年には「提言班」「調査班」「イベント班」の3班を編成し、調査班は登別市においても男女共同参画社会の実現に向けての提言書の作成、調査班はパート労働者の実態調査、イベント班は啓発活動としてのイベントの立案・実行に向けてそれぞれ活動してまいりました。

特に、昨年は3月に提言書が完成、6月には講師に向井万起(まき)さんを迎え、「はあもにいフェスタ」のほりべつ」の開催などと、活動が少しずつ実を結びつつある年でした。

私も平成11年から参加させていただき、先輩会員の飽くなき探究心、知識の深さ、行動力に圧倒されながら勉強をしてまいりましたが、提言書作成に携わり、改めて社会の中の女性を取り巻くさまざまな問題や課題について気付かされました。

市内3地区の景観マップをお楽しみに



とみた つねお  
**富田 常雄**さん

(白老町字萩野/37歳)

いよいよ21世紀がスタートし、同時に市制施行30周年・西暦2000年記念イベントは、まもなくフィナーレを迎えます。この2000年のイベントは、他市町村で単発で行われている中、登別市では1年間通してさまざまなイベントが開催されてきました。

私は、登別商工会議所青年部(登別Y.E.G.)の一員として、このイベントに参加することができました。最初に所属したのは自然体感イベント部会です。札内高原温泉周辺にて開催された冬イベントでは、極寒の中、休日はもちろん、平日も毎晩のように作業し、雪像のすべり台などの製作。また、イベント開催当日のスタッフ用の食事の準備など結構大変でした。その後、自然景観部会に席を移し、春から参加した会議には、戸惑いながらの出席となりました。この部会では、ふるさと登別の21世紀に残したい景観・自然・ふるさとらしさを、市民ぐるみで発掘することを目的として活動していました。

その中で、登別地区、幌別地区、鷺別地区の3地区に分かれて作業をしており、私は幌別地区担当として活動することとなりました。私が勤める事業所は新川町にありますが、白老町在任のため、あまり幌別のことに詳しくないことから、調べるのに四苦八苦しました。

自分の足で、幌別川、菜馬川の川岸などを地図を片手に、もう一方にはカメラを持ち、散策ポイントの調査・視察を行い、自然景観部会の集大成である市内3地区の景観マップの製作をしています。ほかにもいろいろありましたが、このマップ作りで、自分自身、数々の発見もありました。市民のみなさん、まもなく完成予定の景観マップを使って『ふるさと登別』の新しい発見をするために散策してみませんか。

市制施行30周年・西暦2000年記念イベントに参加し、素晴らしい体験ができたことは、2001年からの仕事や登別Y.E.G.の活動など、日々の糧として、今後役立っていくでしょう。

最後になりましたが、市民のみなさん、自然景観部会へたくさん写真や情報の提供をいただき、ありがとうございました。

2001年もこの種子を育て、男女が平等に参画できる社会に向かって、しっかりと根を張り成長し、また、たくさんの方を結びつるに日々努力し、活動を続けてまいりたいと思っております。

(片倉町/53歳 今田ヒサ子)

**ハートtoはあと**  
を  
振り返って

台風の影響で前日は大雨、この日のために、一年も前からさまざまな人たちと何度も会議を重ね、準備してきたのに……

そして初日

残念ながら中学生の吹奏楽演奏によるオープニングが中止に。空模様を気にしながら、とりあえずイベントは始

まった。

プログラムが次々と進む。自衛隊のブラスバンドの後、和太鼓の演奏のあたりで雨模様となる。太鼓を気遣うスタッフ。ハラハラダンスとバンド演奏は、土砂降りのため途中で終了。午後8時過ぎには撤収作業に切り替わっていった。

2日目の朝、風は強いが日はさしている。「今日こそは」とだれもが祈るような気持ちで会場へと向かう。スタッフはもちろん、背広姿の役員の足元も、みな長靴なのがほほえましい。

台風一過、秋晴れの空の下、川上公園には大勢の子どもたちや家族連れも集まった。ミニS.L.やゲームコーナーには行列ができ、屋音のおいしそうなおにぎり誘われ、ビール片手に大人たちが笑っている。

そして、カラオケやクイズなどを楽



▲出演者と観客らが合唱し、感動のフィナーレを迎えた「ハートtoはあと in のほりべつ」

しむ若者が、会場のあちこちでふれあっているのが見渡せる。やがて日が暮れ、会場に照明がともると、そこは大きな劇場と変わり、野

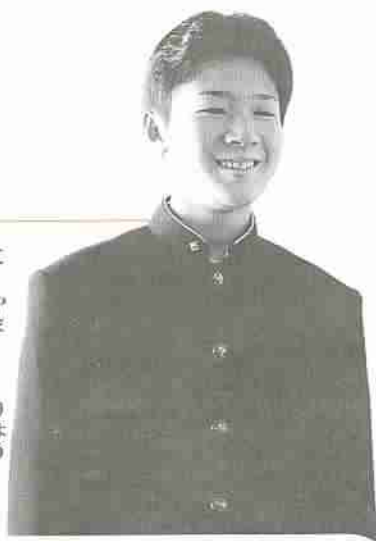
外劇が始まっていた。幻想的な雰囲気子どもも大人も、この会場すべての人間が役者なのだ。最後には、全員の大合唱で、このイベントは幕を閉じた。川上公園は、また元の芝生に戻った。しかし、あの日の思い出は私たちの記憶にいつまでも残り、きつと21世紀に引き継がれることだろう。

(片倉町/31歳 佐藤 匡さん)

**大**  
創(つく)らん  
いなる夢を抱き  
新しき地域を

21世紀を迎えて、輝かしい新世紀の第一歩を踏み出しました。私たち社団法人 登別青年会議所は、20世紀から21世紀の変わり目を新たな変革のきっかけとしてとらえ、まちづくりを考えて活動してまいります。





小山 亮さん  
 (柏木町/14歳  
 西陵中学校2年)

## 前略2001年の私 さまざまな影響を受けた デンマークへの派遣

僕のこの一年間での一番の思い出は、デンマークへの海外派遣です。この海外派遣では、たくさんの人と友達になり、また、さまざまなことを経験しました。その中でも、一番心に残っているのは、リングという町でのホームステイです。ホストファミリーと一緒にいった学校では、16人という少ないクラスメイトと授業を受けました。日本とデンマークでは、授業の内容も少し違うのですが、授業中の雰囲気が一番違っていました。例えば、自分でしたいと思ったら、廊下で勉強してもよいし、授業中に写真をとっていいということなどです。

しかし、いろいろ違うことはあっても、みんなそんなことは気にしないで、きこちな英語でEメールのアドレスを交換したり、お互いの国の言葉を教えたりして、すぐにとでも仲良くなりました。それだけに、別れもとてもつらかったけど、今もお互いにクリスマスカードやEメールを送ったりして、そのたびにいろいろなことを思い出しています。

僕が、この海外派遣によって受けた影響はたくさんありますが、その中でも外国の人に対する考え方が一番変わったと思います。

なぜならば、僕たちの身近には外国人は少なく、もし会ってもあまり積極的に声を掛けるなどということは、なかなかできないと思います。

しかし、この海外派遣ではホストファミリーと別れてから電車の中で会った人たちとも仲良くなることができました。これはホストファミリーやクラスメイトたちと仲良くなり、外国の人に対する考え方が変わったからだと思います。

僕は、日本にいる外国の人と話したり、もう一度デンマークに行き、海外派遣でお世話になった人たちにお礼を言いたいと思うので、これからはもっと英語を勉強して、もっと積極的に上手に使えるようになりたいです。

私も、新年から登別青年会議所理事長として、まい進してまいりたいと考えております。

昨年、市制30周年では、「夢の響る街のぼりべつ」をキャッチフレーズに、1年間、私どもも参画してまいりました。我々には、次世代を担う子どもたちに、この地球を引き継いでいく義務があります。今やるべきことは、このまちに住む子どもたちが、夢や希望を持てるような「明るく豊かな社会」を築くことです。それは我々大人たちが夢を持ち、まちには生き生きとした活力があふれていなければなりません。2001年は、その活力を子どもたちと一緒に共通の夢を創り、夢を達成させるようなものを生み出していきたいと思えます。

2001年、登別青年会議所は「大いなる夢を抱き、新しき地域(まち)

を創らん」をスローガンに、先義後利の旗の下、1年間活動していきますので、ご期待ください。

(常盤町/39歳 鈴木高士さん)

## 2 001年の お正月は 長男家族と共に

長男家族は、埼玉県に住んでいるので一度もお正月を同じに迎えたことがないので、2001年のお正月は、ぜひ、長男家族とお正月を迎えることにして、今よりいろいろと準備を進めています。

家内は大変に喜んで、11月末より12月20日ごろ、出発予定していましたが、待ち遠しいようです。

こんなに喜ぶのであれば、まだ早く機会を作ってやるべきであったとつく

づく思う今日このごろです。

(若山町/83歳 工藤勝雄さん)

## い つまでも 父が笑顔で いられるように

この町に生まれ、48年目を迎える私の人生において、一番悲しかったのは、17年前に他界した父との別れでした。病床で苦しんだ父の姿に、こらえてもこらえてもあふれ出る涙を止めることはできませんでした。

先日、久しぶりに子どもたちのアルバムを開いていると、百日を迎えた孫を抱いて満面の笑みを浮かべている父の写真がありました。小さいころから苦勞してきた父ですが、笑顔はいつも最高にすてきな人でした。

来年早々、法事の席に集まる親せき

や、成長した孫たちの姿を遠くから、あの素晴らしい笑顔で見つめているような気がします。

いつまでも父が安心して眺めていられるよう、笑顔でいられる幸せを感じていきたいなあと思います。

(匿名希望)

## 前 略 2001年の 私へ

「ありがとう」、35歳の私。それなりに頑張った。

かつこはよくない。

どちらかといえば出来損ないでも、「生きてる」35歳の私。

2001年のカレンダー、開いても新しい発見もないだろう。あくせくとした毎日の生活。

さつぱつとした職場の人間模様。ときどき……

投げ出した……多分にある……でもね。

こんな小さなこと、悩んでる、悔やんでる「私」。

好きだな。今は思える。

「明日」のことばかり見てた今まで。これからは「今日」を楽しんでみたい。

「私」ちっぽけ。だから「今日」を歩む。

つまづいたら笑い、器用じゃないから悩む。悩むから強くなれる。

「私」「家族」「さまざまなる人」。

目をそらす向き合おう。

何ができる？NO何をしようか！

何をしてあげた？NO何をしてあげれる？



ふき あいこ  
吹越愛子さん

(片倉町/67歳)

## 前略2001年の私

### 人道と博愛を基調に活動と展開

赤十字奉仕団は、赤十字の理念に基づいて、地域で災害時の炊き出し救護救援活動をするのが奉仕団の使命です。

近年、大規模な災害が相次ぎ、昨年も有珠山や三宅島の噴火、名古屋の水害などで日本赤十字の方々が活躍をされています。私たち登別地区奉仕団も、3月31日の有珠山の噴火に伴い、登別市老人福祉センターに避難された方々の炊き出しが始まりました。いつ収まるかわからない状況の中で、不安の色も濃く、私たちは食事はすべて手作りで「温かいものを瀬戸物の器でお迎えしよう」を合い言葉に、団員でメニューを考え、材料の調達と一時的に転校されたお子さん方がおりましたので、学校給食のメニューと重ならないよう心掛けました。三食手作りとなるため、朝は5時半過ぎに家を出なければならないので、朝食は地元の片倉分団が受け持ち、昼食と夕食調理までを登別分団・富浦分団、夕食の配膳と後片付けに明朝の準備を片倉分団と役割を分担し、帰宅するのがいつも7時過ぎになり、4月の末まで続けました。その間、市役所の職員と家族、一般市民と大勢の方々の協力をいただきました。その中に西陵中学校2年生の女の子も参加してくれました。延べ人数で市職員・一般市民100人、奉仕団350人の方々に協力をいただきましたことを深く感謝申し上げます。

日本赤十字の信条に「すべての人々の幸せを願い、影の力となって善仕する」とあります。

私たち赤十字奉仕団は、これからも災害時に迅速な対応ができるよう人道と博愛を基調に活動を展開してまいります。

今年2001年は、ボランティア国際年です。みんなの手をつないで頑張りましょう。

## 2001年は 老いを忘れ 頑張る年に

私は、今年60歳を迎えるのですが、60歳になり、これからまだまだ何かかと思っていたところ、お友達の話も

心の言葉の変換、上手にできるかな。心の温かさ、上手に伝えられるかな。暮らしの中の住人たちに。より遠き人たちに。人生の最高の終末期に「自分」をほめてあげられる。「今日」を楽しめる「私」。そんな年の幕開け、できたらいい。それが、「私」の望む2001年の「私」。

(匿名希望 KAKO)

あって老人大学に入学できて1月から数カ日がたちますが、1年生とはいっても多く、この元氣な私より上の年の方でも、真剣に講義を受け、毎回テーマが違う内容をメモを取っている人、また、質問する人など、そしてまた、毎回事の方から来てくださるその分野の講師の方の説明、お話など、私も、生懸命、耳を傾け聞いて、それと一度は札幌西小学校の参観もさせていただき、そこでは昔の遊び、お手玉、ピー玉、竹とんぼ、その他、子どもたちと仲良く遊ばせてもらって本当に楽しいときを過ごさせていただき、心に残る思い出ができました。

これからも老人大学に通いながらも老いを忘れ、今、自分が趣味でやっているカラオケ、習字、その他いろいろ多忙な暮らしていますが、それはいつも心の中で思っている「やる気 負けん気

元氣」、この二つの気で2001年も家族・友達と仲良く前進して頑張る年にしようと思ってます。

(富士町/60歳 山田満智子さん)

## しんた21に 通う 日々

登別市総合福祉センター「しんた21」は、家から歩いて約25分。1カ月に7日は通った。

「いや、いつも会うね。出勤簿がいるんじゃないかい」と、何度か言われたことがあるので、もっと多いかもしれない。

所属しているボランティア団体の例会・役員会・打ち合わせ、調理実習、障害をもつ方々の衣類のリフォーム、ボランティアセンターの行事に参加、



と目的はいろいろです。

平成8年の「市民ボランティア講座」を受けたときに、初めて「しんた21」を知り、ずっとこのペースで来ているのですが、「今日は行くのがいやだ」「体調が悪くて行かれない」「気が進まない」と思った日が、一日も無かったのが不思議です。

子どものときから体が弱く、出無精の私がこんなに変わったのは「しんた21」に何かあるのでしょうか。笑顔のあいさつ、障害をもつ方に対する優しさ（中にはあいさつも笑顔も忘れていられる人がいたかもしれない）、ボランティア団体への適切なアドバイス、また、デイサービスを受けている人、それをお世話する人、食事を作る人どみなさんの姿を見ているだけで、私は自分が満たされ、いやされていました。いつもいつも少しの疲れと、満たされてパンパンにふくらんだ心を抱えて帰路についています。

新しい年、2001年も今までと同じように「しんた21」に通いたいと思います。いろいろな方々とお会いして、みんながいきいきできる場をつくらいたいなど思っています。今年もよろしくお願いたします。

（新川町／60歳 安達陽子さん）

## 2000年イベントの経験をこれからも……

20世紀最後であった昨年、登別市制30周年を祝う数々のイベントを実施



▲市内の小・中学生37人が参加した「登別市子ども議会」

しました。

その中でも「登別市子ども議会」というイベントで、市内の各小・中学校の代表者の一人として私は参加しました。

実際の議場で行われたこの議会、「登別市」について真剣に討論しました。

私は議長という大役を任せましたが、多少戸惑いながらも無事に務めることができました。

議員からは質問や要望が飛び交い、その意見に答弁する理事者……。このやりとりは大人議員に匹敵するくらいのものであったと思います。

また、私は他のイベントでも活躍の場をいただきました。そんな一年間を通して、普段では感じられない気持ち、普段ではできない経験をイベントで得られた気がします。

2001年、私は「登別市」がより

一層発展していくことを望んでいます。そして自分も、受験という大勝負を控え、一年間で得た経験を生かし、登別市の一員として過ごしていきたいです。（千歳町／15歳 幌別中学校3年・近藤知哉さん）

## 胆 振地域子ども会 育成連絡協議会 30周年を迎えて

胆振地域子ども会育成連絡協議会（胆子連）は、登別市と同じく昭和45年に当時の社会状況を背景に、子どもたちの健全育成を重要と見なし、先輩諸氏が集い設立され、平成12年に30周年を迎え、当市で記念式典を開催いたしました。私は、協議会会長として大任を果たすことができ、安どしております。



▲胆子連の30周年記念として行われた『第19回室蘭民報社旗争奪・第28回胆振地域子ども会スポーツ大会』には、胆振管内の子ども会14チームが参加。写真は開会式での選手宣誓

当協議会は、管内全15市町村が加盟され、道子連15支庁でも例を見ない育成団体として発展・注目されているところであります。

少子化が進む中、急速な社会の変化は子どもたちに大きな影響を与えており、子どもたちが起こすさまざまな問題行動は、戦後第4のピークといわれ、子どもの異変は、家庭・学校、地域の教育力の低下ともいわれております。

2年後には、学校が完全5日制となり、子どもに「生きる」力を身に付ける教育、総合学習が導入され、三者が一体となったときには「共育」に変わってきます。学校では知識を学び、それを地域で体験する。見たり、聞いたり、試して見る、胆子連はこれらのことをすでに各地域で実践・活動してきておりますが、今後は子ども会に限らず地域全体で取り組んでいくことが必要とされます。

胆子連は各市町村子連が連携を取り合い、時代が変わっても環境が変わっても、私たち育成者は変わることなく、子どもたちが心身ともたくましく豊かに成長することを願い、ニーズに合わせた活動をしてまいりますので、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

（登別町／54歳 川島芳治さん）

たくさんの投稿、ありがとうございます。掲載させていただいた『手紙』は順不同です。

## 図書館の理想像を探る



▲さまざまな意見が出された意見発表

### ～新図書館建設を考えるシンポジウム～

11月18日(土)、鉄南ふれあいセンターで『新図書館建設を考えるシンポジウム』が開催されました。

市は、平成8年に策定した登別市総合計画で、生涯学習を支える情報拠点としての中央図書館建設を検討するとしており、このシンポジウムは市民参加による検討作業の一環として開かれたものです。

はじめに、平成12年に開館した石狩市民図書館副館長の石沢修さんが「図書館設立と望ましい図書館のあり方」と題して基調講演を行い、「他の公共施設の整備が必要な中で、膨大な予算を要する図書館は40年から50年に一度建てられるかどうかの施設。建設までに造る側と利用する側が十分に知恵を出し合って」と計画段階からの市民参加を勧めながら、総事業費約30億円を投入した図書館建設の経過などを紹介しました。

続いて行われたパネリスト3人による意見発表では、「本がもつ力で自立した市民を育てるのが図書館」「情報技術の発達を視野に入れた検討を」「地域情報の発信基地としての図書館を」「パソコンを使える人使えない人の情報量の格差を埋めるのが本や図書館の役割」などの意見が出され、参加した約80人の市民は図書館の理想像を思い描きながら熱心に耳を傾けていました。



▲石沢さんによる図書館設立などについての基調講演

### 手作りでおいしくできました ～『年越しは手打ちそばで』教室～

12月2日(日)と3日(月)の2日間、郷土資料館隣の文化伝承館で、公民館講座『年越しは手打ちそばで』教室が開催され、2日間で約70人がそば作りに挑戦しました。参加者は、同館で活動しているボランティアグループ『S.I.G.』の会員の指導で、そば粉をこねたり、めん棒でのしたりそば作りを楽しく体験しました。

若草町から参加した武田敏子・みゆきさん親子は、「水加減と均等にのすのに苦労しました。今年の年越しそばは自分たちで作ります」と話していました。



### たくましく、前向きな人生を ～登別市男女共同参画講演会～

11月24日(金)、労働福祉センターで、のぼりべつ男女共同参画懇話会と市共催の『登別市男女共同参画講演会』が開催され、ドイツ在住の作家・シュミット村木真寿美さんの講演に約80人が参集しました。

村木さんは、「大正の函館文学少女ヨーロッパを語る」と題して、大正時代に、カルロピバリ(チェコ共和国)出身のハム職人のカール・レイモンさんとチェコに渡った函館出身の勝田コウさんをはじめ、ヨーロッパ人男性と結婚のため渡欧した3人の女性のたくましく、前向きな生き方を熱く話していました。



### 介護保険制度施行後の課題を認識

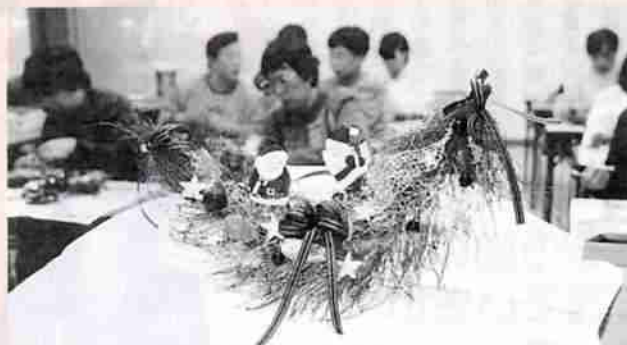
#### ～のぼりべつケアマネ連絡会11月例会～

のぼりべつケアマネ連絡会は、市内の介護保険施設や居宅介護支援事業所などに勤務する介護支援専門員(ケアマネジャー)によって昨年5月に発足し、例会や研修会を開催するなど、会員相互の情報交換や資質の向上などを図るための活動を行っています。

11月17日(金)には、「介護保険制度スタートから6か月经過しての感想」をテーマにパネルディスカッションが行われ、目ごる家庭で家族を介護している方やデイケアの利用者などをパネリストに、介護保険制度についての事例発表や活発な意見交換が行われました。







▲白や金色のスプレーを使って装飾されたクリスマス用の壁掛け

## プロの味を食卓に

～乳製品を使ったクリスマス料理講習会～



乳製品をもっと利用してもらおうと、登別消費者協会主催の「乳製品を使ったクリスマス料理講習会」が、12月12日(火)に市民会館で行われ、36人が参加しました。

ホテル平安料理長・寒河江康仁さんを講師に招き、バターなどの乳製品を使った料理4品が紹介され、参加者は「プロの味を家庭でも」と、講師の説明にメモを取りながら真剣に聞いていました。

講習会に参加した西岡浩さん(鷺別町)は、「料理をするのが好きで、時々、友人に料理を作って食べてもらいます。乳製品を使った料理に興味があり参加しました。今日教わったデザートを、早速作ってみます」と、なれた手つきで料理に取り組んでいました。

## 21世紀は子どもたちが 主役

～胆振地域子ども会育成連絡協議会創立30周年記念式典～

11月19日(日)に「胆振地域子ども会育成連絡協議会創立30周年記念式典」が市内のホテルで開催されました。

同協議会は、昭和45年に胆振管内の各市町村の子ども会育成連絡協議会により創立され、地域子ども会の交流事業や子ども会活動を担うリーダー育成のための研修会を実施するなど、精力的に活動してきました。

式典では、同協議会会長の川島芳治さんが、「21世紀は子どもたちが主役、30周年を大きな通過点とし、さらに地域に根ざした子ども会活動を進めてまいります」と21世紀へ向けての決意を表しました。



## 華やかに花を飾って

～クリスマス・正月用フラワーデザイン教室～

12月13日(水)から6回にわたり、文化・スポーツ振興財団が主催する「クリスマス・正月用フラワーデザイン教室」が、婦人センターや市民会館、鷺別公民館などで開催され、計36人が参加しました。

参加者は、小野陽子さん(日本フラワーデザイナー協会本部講師)の指導のもと、乾燥させた小枝を束ね、星やリボン、サンタクロースなどの飾りを張り付けたクリスマス用の月形の壁掛けと、花瓶に赤目柳や松、生花などをあしらひ、しめ縄や紅白の水引で装飾された正月用のフラワーデザインをそれぞれ作りました。

参加した佐藤洋子さん(新川町)は、「思っていたより難しいですが、作るのはとても楽しいです。また、こういう機会があればやりたいですね。今日作ったものは、とてもかわいいので玄関に飾りたいとおもいます」と、話していました。



## 介護の悩みや体験談 を語る

～在宅介護者リフレッシュ事業～

11月25日(日)、26日(月)の2日間、社会福祉協議会や簡易保険加入者協会などの主催で「在宅介護者リフレッシュ事業」がしんた21などを会場に行われました。

この事業は、日ごろ家庭で家族を介護している方の交流を図るとともに、介護の方法などを学ぶため開催されたもので、初日は室蘭市の癒ほう老人を支える会「いが栗の会」の会長で実際に母親を介護している藤本紀子さんを囲み、介護の悩みや体験談、具体的な介護方法などについて意見を交換しました。

20人の参加者は、その後登別温泉に会場を移して交流会に参加、2日目は婦人センターで「あい染め」を体験するなど、日ごろの介護から離れ、貴重なひとときを過ごしました。





# 元氣



今月のアドバイザー

工藤 薫 保健婦

食べるといふことは、健康の源であると同時に人生の大きな楽しみでもあり、いつまでもおいしく食べるためには丈夫な歯と歯茎が必要です。

一般に年をとると、歯や歯を支える肉が衰え、歯が抜けるのは当たりまえと思われてきました。

しかし、歯を失う原因の約半分は虫歯で、残りの半分は歯周病によるものです。

歯周病は、歯の生活習慣病ともいわれ、40歳代から50歳代をピークに広がっていて、今では10歳代から20歳代の若年層でも年々増加しています。いつまでも健康で豊かな人生を過ごすためには、まず自分の歯でものが食べられることが大切です。

永久歯は、全部そろくと28本ですが、一生何でもおいしく食べるには、少なくとも20本は自分の歯が必用です。

80

## 日ごろの歯の健康管理でいきいきライフ



歯周病の予防には、ブラッシングが効果的です

歳になっても自分の歯を20本残そうという「8020運動」を進めています。

長寿を得ても歯を失うことにより、心身の健康を保つことが難しくなります。

虫歯や歯周病の主な原因は歯の汚れのプラーク（歯垢）や歯石ですから、自分の口の中を良く知ったうえで、日常のケアをきちんと行うことが大切です。

歯周病の初期は自覚症状がありませんので軽視されがちですが、一度かかっってしまうと自然に治ることはありません。

歯周病予防の効果的な方法は、何よりも歯の汚れを取り除くブラッシングです。

正しいみがき方と毎食後のブラッシングが健康の基本ですが、バランスの取れた食生活や定期的な歯医者にかかり、歯の健康管理を行うことも大切です。

人が離さ まちがときめく

## 仲間たち Group

### 登別消費者協会

「消費者である私たち一人ひとりが毎日、口にしている食べ物や使っているものの安全性と価格、流通経路などを意識し、賢く商品を購入できるよう、会員みんなで頑張っています」と話す、登別消費者協会会長の掛端栄子さん。

同協会は、高度経済成長期の昭和47、48年ころ、石油や石油を使った商品が不足・高騰したオイルショック（石油危機）が起こり、「ただ黙って見ているだけの消費者ではない。消費者自身も勉強しなくては」と、町内会や消費関係者らによって、昭和50年に発足しました。

現在、会員は230人。労働福祉センターに事務局を置き、火曜日から金曜日までの10時から16時、消費生活相談や物価調査、悪徳商法などの事例や対処法を紹介する「地区懇談会」、広報のぼりべつ15日号に掲載している「不用品ダイヤル市」での



良い悪いを見極められる  
賢い消費者になりましょ  
う。



▲登別中央ショッピングセンターアークにて行われた「登別消費生活展」

リサイクル活動などを行っています。

「消費生活相談では、訪問販売や電話勧誘などで、商品の購入を勧められ契約してしまい困っている方からの相談が増えています。一定の期間内であれば違約金なしで契約解除ができるクーリング・オフ制度がありますので、一人で悩まず、一度相談してください。当協会では、このほかに、JA東川や音更町の農家の方と直接契約を結び、減農薬減化学肥料米や豆類を、会員に低価格で提供しています。テレビなどで情報があふれている昨今、自分で見極められる賢い消費者になるために、当協会主催の行事や、6人の少人数から行う「地区懇談会」に参加して、いっしょに勉強しませんか」と、同協会の利用を呼びかけています。

入会を希望される方は、登別消費者協会（☎8307）までどうぞ。



### 最近回覧の数が多く感じます

広報のほりべつをいつも楽しく読んでおり、1カ月の行事などを参考にさせてもらっています。

さて、ちよつとひとこと言わせてもらいますと、町内会の回覧の回数が少し多過ぎるように思います。回覧の内容は、泥棒の用心とか、本の販売など。

共働きの家庭が多い町内会では、家庭のポストが小さくて回覧板が入らないため、夜にならないと渡せません。

高齢化社会といわれる昨今、これからの冬の季節に、お年寄りが何回も回覧板を持って雪道を歩くのもどうかと思えます。

あまり必要としない一般的な情報はテレビなどで十分です。配慮を。  
(市内 男性)

### 水洗化により快適な日々を送っています

去年の夏は暑かったが、食事のときにハエに悩まされることがなかった。

これはきつとトイレの水洗化のお

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

企画広報室 中央町6-11  
 ☎05 1122  
 FAX 05 1108  
 Eメール: pr@city.naboribetsu.hokkaido.jp

かげだと思っている。町内を歩いていてもにおうことがなくなった。  
(若山町 男性)

### 終わってしまったのが残念な「市民大学」

市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会の方たちが、1年間一生懸命にいろいろな事業をしました。

私が一番良かったと思うのは、いろいろな講師の方の話を無料で聞けた「市民大学」です。

3回しか行けませんでした。とても勉強になりました。たった1年で終わってしまうのが少し残念です。  
(市内 男性)

## ふるさとの文化遺産



### 炭化化石林の木

昭和59年5月5日、登別本町2丁目の道央自動車道の工事現場で、樹木が立ち木のままの状態に炭化した『化石林』が発見されました。発見された化石林は、最大直径13cmのトドマツを含む、直立した炭化木53本。約4万年前、倶多楽火山の爆発で噴出した高温の火山灰に針葉樹林が埋もれて蒸し焼きになり、炭化したものです。

この化石林は「登別化石林」と命名され、道内では昭和33年に千歳市で発見された『美々化石林』に次いで2番目。当時の火山の活動状況や気象状態などを知る上で、学術的に貴重とされています。

専門家らによる学術調査終了後は、現場から2本の炭化木を保存用として採取。そのうちの1本が郷土資料館に展示されています。

▶問い合わせ 郷土資料館 (☎1339)



## あすなろ

みやした 洋一さん(21歳)

第十八盛漁丸乗組員

そう祖父から4代続いた「漁師」に誇りを持っています

「高校では電子科で学んだので、コンピューター関連の職業にもあこがれましたが、亡くなった祖父や、父が漁に出る姿を見ていて、自然に漁師をやろうと決めていました」と話す宮下さんは、富浦町で漁を始められたそう祖父から数えて4代目の漁師。父の貢三さんと親子で、出漁する毎日です。

「確かに漁師は楽な職業ではありませんが、刻々と色を変える海原にぼつんと浮かんで仕事をする感じは、たまたま魅力的ですね。輸入魚の増加や後継者不足など、漁業を取り巻く環境は厳しいですが、父とともに漁師という職業に誇りを持って頑張りたいです」と、しっかりとした口調で話す宮下さんは、明日の登別の漁業を支える頼もしい青年です。



子どもたちの自然とのふれあいの場として「カムイヒュッテ」を活用してほしい

登別山岳会は、昭和45年3月にふるさとの山を愛する会員により創立され、現在、会員は64人。カムイヌプリ6合目に建設した山小屋「カムイヒュッテ」の管理や登山道の整備、「市民登山会」の実施のほか、教育委員会の行事にも積極的に協力しています。

「会員にとって一番の思い出は、資金調達から材料の運搬、建設まで自前でやった「カムイヒュッテ」の建設ですね」と、懐かしそうに語る河村さん。

「行政に頼らず、一般への寄付も募らず、登山道整備の報酬を蓄えて、建設資金にしました。材料の運搬では、みなさん、汗だくになって何度もカムイヌプリを登りました。去年11月に開催した「カムイヒュッテ建設10周年祝賀会」では、当時の思い出がたくさん語られましたね。「カムイヒュッテ」は、会員結束のあかしなんですよ。この「カムイヒュッテ」、子どもたちの自然とのふれあいの場などに、もっと活用してほしいですね」と話してくれました。

自然の中で夢中になって遊ぶ子どもたち、今も、昔も変わりません

会の活動では、山開きに合わせ



▲「カムイヒュッテ」に集う登別山岳会会員のみなさん

て開催している「市民登山会」や子どもたちに自然とふれあう機会を与えようと教育委員会が実施している自然体験学習事業への協力などで、子どもたちと接する機会も多いそうです。

「今の子どもたち、遊びが下手だとか、冒険心が足りないとか言われますが、自然とふれあう機会を与えられると、滝を登ったり、川原でかけ回ったり、上手に、夢中になって遊びますよ。私たちは豊かで美しい自然に恵まれたまち「登別」に暮らしているのですから、ぜひ、子どもたちを連れ出し、登別の自然を体で感じさせてやってほしいですね。子どもたちが自然から学び取るものは、決して少なくはありません」と話す河村さんは、この冬も登山を計画しています。



昭和23年5月、佐呂間町生まれ。52歳。千葉商科大学経営学部卒業。学生時代には1年間に157日も登山したこともあるほどの山好き。平成9年から登別山岳会の会長に就き、同会の発展と登山の普及に尽力。

# きらり

KIRARI

かわ むら まさる  
**河村 勝**さん(富士町)

昨年3月で創立30周年を迎えた登別山岳会は、健全かつ安全な登山の実践と普及を活動の目的に、カムイヌプリや来馬岳などを中心とした山歩きを楽しむほか、初心者登山教室の開催や登山道の整備など、地道な活動を展開しています。登別山岳会会長の河村勝さんに、同会の活動や、登別の自然への思いなどを聞きました。

美しく豊かな登別の自然を子どもたちに体感してほしい。





# 情報あらかると

## 平成13年度 保育所入所児童募集

市は、平成13年度の市立保育所の入所児童を募集します。

保育所名	定員	対象	所在地	電話番号
富士保育所	90人	生後6カ月以上のお子さん	富士町7丁目2-1	☎2557
幌別東保育所	90人		幌別町8丁目17	☎0151
栄町保育所	90人		栄町2丁目6-1	☎9515
鷹別保育所	90人		鷹別町4丁目36-18	☎7254
登別保育所	45人	満3歳以上のお子さん	登別東町1丁目14-5	☎1079
登別温泉保育所	45人		登別温泉町92-1	☎3078
富浦保育所	30人		富浦町1丁目53	☎1140

※入所希望者が保育所の定員を超えた場合は、公正な選考により入所を決定します。

▼対象家庭  
保護者のいずれもが、「居宅外で

仕事（家事以外）をしている」「病気、心身に障害がある」「出産の前後」「病人の介護」などにより、日中子どもの保育ができない家庭

◎このほかの理由で、家庭内での保育ができない家庭

▼特別保育  
◎各保育所では、満3歳以上で、心身の発達に心配のあるお子さんの保育も行っています。

◎富士・鶯別保育所では、通常の保育時間を超えた19時までの延長保育を行っています。

▼広域保育 室蘭市・伊達市・白老町の保育所への入所を希望する方は、児童家庭課へお問い合わせください。

▼申込書の配布・受付期間 1月9日（火）～31日（水）

▼申込書の配布・受付場所 児童家庭課（市役所1階8番窓口）、各支所、各保育所

▼問い合わせ 児童家庭課  
☎5634

防災研修会を開きます  
市は、NHK室蘭放送局から講師を招いて、防災研修会を開きます。毎年、1月15日から21日までは「防

災とボランティア週間」です。この機会に災害時の対応や防災についての知識を深めましょう。

▼日時 1月15日（日）18時～20時

▼場所 市民会館中ホール

▼内容  
○講演「マルチメディア時代の災害報道」、講師：中澤哲哉さん（NHK室蘭放送局放送部長）

○研修「自主防災組織について」

▼入場料 無料

▼問い合わせ 総務課  
☎1130

## 所得税の還付申告は 1月から受け付けます

年の途中で退職し年末調整を受けていない方や、多額の医療費（10万円か所得の5%のどちらか少ない額を超える金額）を支払った方、10年以上のローン組んで新築や中古の住宅を取得し、入居した方などが、所得税の還付申告をすると、納めた税金が戻ることがあります。

還付申告の受け付けは、室蘭税務署と市税務課市民税係で行いますので、お早めに手続きをしてください。

▼還付申告の受け付け

日時	場所
1月4日（木）から 8時30分～17時 （室蘭市入江町1-13）	室蘭税務署
1月9日（火）から 9時～17時30分 （市役所1階6番窓口）	税務課市民税係

※上・日曜日、祝日を除く。

※所得税の確定申告の受け付けは、2月16日（金）から行います。

※確定申告と市・道民税の申告については「広報のぼりべつ2月1日号」の折り込みでお知らせします。

▼問い合わせ 税務課（☎1155）または室蘭税務署（☎4151）

## 20歳がスタート！「国民年金」

20歳になると、会社などに勤務して、厚生年金や船員保険、共済組合に加入している方以外は、全員が国民年金に加入しなければなりません。国民年金に加入していないと、老後を迎えたときはもちろん、万一の病気やけがのため障害をもったとき、老齢基礎年金や障害基礎年金を受け取ることができません。

成人の第一歩として、20歳の誕生日を迎えたら、必ず国民年金に加入しましょう。

▼問い合わせ 保険年金課  
☎1771

## 平成13年登別市消防出初式を開催します

▼月日 1月7日（日）

▼時間 10時15分～10時35分

▼場所 市民会館駐車場

▼内容 分列行進や観閲、放水など

▼問い合わせ 消防本部総務課  
☎9611

# かると

## 建設工事・物品購入などの 指名願いを受け付けます

市は、平成13、14年度の建設工事や設計、測量、物品購入などに入札参加を希望する事業者の資格審査申請を受け付けます。

▼受付期間 1月22日(月)～2月9日(金)（土・日曜日を除く）

▼受付時間 9時30分～12時、13時～16時

事業種別	受付場所	提出書類	問い合わせ
建設工事計 画 測量など	第二会議室 (市役所3階)	・建設工事等競争入札参加資格審査申請書 (社)北海道土木協会発行の市町村統一様式(登別建設協会取り扱い)を使用してください ・登別市税の納税証明書など	契約管財課 ☎331184
物品購入 など	財政課 用度経理係 (市役所2階)	・物件の購入等競争入札参加資格審査申請書 財政課用度経理係に備え付けの市指定様式を使用してください ・登別市税の納税証明書など	財政課 ☎331331

※今回より、添付書類として消費税と地方消費税の納税証明書が加わります。

りましたので、忘れずに提出してください。

## 家電リサイクル法が スタートします

これまで、不用となった「エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機」の家電4品目は、買い替え時に販売店(小売業者)に引き取っていただいたり、市の許可業者に処分を依頼するなど、ご協力をお願いしてきました。

今年4月1日から施行する家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)では、家電4品目のリサイクルのため、次のように小売業者や消費者などの義務や負担が定められましたので、ご協力をお願いします。

- ①製造業者(家電メーカー)などにリサイクルの義務
- ②販売店(小売業者)に、収集・運搬の義務
- ③排出者(消費者、事業者)に、リサイクルにかかる料金(注1)と、収集・運搬にかかる料金(注2)の負担を定めています。

注1：エアコン3千500円、テレビ2千700円、冷蔵庫4千600円、洗濯機2千400円

注2：現在未定で、各販売店(小売業者)が個別に店頭先に公表予定※詳しくは広報のぼりべつ3月1日号に折り込みちらしでお知らせします。

▼問い合わせ 環境資源課(クリンクルセンター内) ☎2958

## 第30回登別温泉湯まつり

### プログラム

時間	行 事	場 所	内 容
2月3日(出)			
13:00 15:00	・カルルス訪問	カルルス温泉	青鬼・赤鬼の湯鬼神(ゆきじん)がカルルス温泉の湯治客を訪問し、郷土芸能「湯鬼神かぐら」を披露します。
18:00 20:00	・厄払い湯鬼神群舞	登別温泉街	大勢の鬼たちが温泉街に繰り出し、観光客や市民のみなさんの厄払いを行います。
20:00 20:40	・郷土芸能「湯鬼神かぐら」 ・厄払い豆まき ・郷土芸能「子宝もちつき舞い」 ・湯の華もちサービス ・甘酒・湯鬼酒サービス	まつり広場 (登別パライズ前)	湯鬼神が郷土芸能「湯鬼神かぐら」を披露するほか、年男による厄払いの豆まきを行います。子宝もちつき舞いでついたちは、お客さまに振る舞われます。
2月4日(立)			
18:00 20:00	・厄払い湯鬼神群舞	各旅館・ホテル	湯鬼神が登別温泉街の旅館・ホテルを回り歩き、厄払いを行います。
20:00 20:40	・郷土芸能「湯鬼神かぐら」 ・厄払い豆まき ・郷土芸能「子宝もちつき舞い」 ・湯の華もちサービス ・甘酒・湯鬼酒サービス	まつり広場 (登別パライズ前)	湯鬼神が郷土芸能「湯鬼神かぐら」を披露するほか、年男による厄払いの豆まきを行います。子宝もちつき舞いでついたちは、お客さまに振る舞われます。
20:40 21:00	・源家湯かけ合戦 ・道祖神祓ねりこみ	まつり広場 (登別パライズ前)	観戦の中、下帯姿の若者たちによる勇壮な湯かけ合戦が繰り広げられます。

※都合により時間・催し物を一部変更する場合があります。

▶問い合わせ 登別観光協会(☎33311)

## 登別温泉に1,000名様 入浴ご招待!

登別温泉旅館組合は、市民のみなさんを温泉入浴にご招待します。

▶月日 2月4日(日)

▶時間 12:00～15:00

▶定員 1,000人(市内に居住している方に限ります。なお、応募者多数の場合は抽選により決定します)

▶申込方法 往復はぎの往信の裏に代表者の住所、氏名、年齢、電話番号、入浴希望者全員の氏名(5人まで)、返信の表に代表者の住所、氏名を明記して、1月22日(当日消印有効)までにお申し込みください

▶申し込み 登別温泉旅館組合(〒059-0551 登別市登別温泉町60・登別観光協会内 ☎33311)



## 第4回『あそびの広場』に参加しませんか

子育て支援センターは、親子で遊ぶ楽しさを体験し、遊びを通して子育てを応援します。ぜひご参加ください。

▼対象 1歳児グループ：1歳6か月～2歳5か月、2歳児グループ：2歳6か月～3歳6か月

※初めて参加する幼児の親子に限ります。

▼開催日 1歳児グループ：1月23日から3月6日までの毎週火曜日、2歳児グループ：1月25日から3月8日までの毎週木曜日

▼場所 子育て支援センター（富士保育所横）

▼定員 約10組（申込順）

▼参加料 無料

▼内容 集団あそび、手あそび、ひな人形づくりなど

▼申込方法 1月9日火から12日木までの9時から17時までに電話でお申し込みください

▼申し込み 子育て支援センター  
(☎3715)

## 歯周疾患検診を行います

40歳を過ぎたころから、歯の喪失の原因となる歯肉炎や歯槽膿漏にかかる方が増えてきます。生涯、自分の歯で食べる楽しみを持続させるた

めにも、この機会に検診を受けてみませんか。

▼月日 1月17日水

▼受付時間 9時45分～10時

▼場所 しんた21

▼対象 満40歳以上で自分の歯がある方

▼定員 10人（申込順）

▼検診料 無料

▼申し込み 1月12日金までに電話で保健福祉課  
(しんた21内☎0100)

## 毎月「5」のつく日はしんた21の体力測定会

しんた21の体力測定会は、毎月5のつく日に行っています。

体力測定会でのデータを基に、コンピュータがその人に合ったトレーニングプログラムを作成し、専門のトレーナーがアドバイスをしますので、効果的な健康づくりができます。ぜひ一度、体力測定会にご参加ください。

なお、体力測定会の時間帯は、トレーニングルームの一般利用はできませんので、ご了承ください。

○2月の体力測定会（1回実施）

▼月日 2月15日木

▼時間 18時30分～20時30分

▼定員 15人（申込順）

▼参加料 500円

▼申し込み 1月17日金から2月6日火までに電話で保健福祉課（しんた21内☎0100）

## 2月の粗大ごみ収集

粗大ごみの収集は、地域ごとに決められた年2回の収集時期に、電話の申し込みにより行います。

粗大ごみを出すときは、1枚160円のごみ処理券を購入の上、1品ごとにごみ処理券を張ってください。

▶申込方法 収集日初日の2週間前から収集日初日まで（土・日曜日、祝日を除く）の8時30分～17時に電話で環境資源課へお申し込みください

### 2月の粗大ごみの収集日・地区

地区名	収集日	申込期間 (土・日曜日、祝日を除く)
新川町	2月5日月 ～2月10日(土)	1月22日月 ～2月5日月
富士町	2月12日月 ～2月17日(土)	1月29日月 ～2月13日火
柏木町	2月19日月 ～2月24日(土)	2月5日月 ～2月19日月
常盤町	2月26日月 ～3月3日(土)	2月13日火 ～2月26日月

※このほかの地区の収集日については、「家庭ごみ収集カレンダー」に掲載しています。また、今後の「広報のほりべつ」でも紹介していきます。

申し込み 問い合わせ 環境資源課 (☎2958)

不景気を追い払え!

## 鬼まつり

2月3日(土)

10:00～21:00

登別商工会議所青年部ほか9団体で構成される鬼まつり実行委員会は、2月3日に「鬼まつり」を開催します。

赤鬼や青鬼に扮した「豆まき隊」が、太鼓や笛、かねを鳴らしながら、登別温泉地区、登別地区、幌別地区、鶯別・若草地区の商店街や飲食店、保育所、幼稚園などに繰り出す予定です。

また、各地区にイベント広場を設け、もちつきやゲームなどを行います。



### 「豆まき隊」参加者を募集します

実行委員会は「豆まき隊」に参加して、赤鬼や青鬼に扮したり、太鼓や笛、かねを鳴らして、一緒に祭りを盛り上げる仲間を募集します。

▶問い合わせ・「豆まき隊」参加の申し込み

1月15日(月)までに登別商工会議所青年部事務局

(☎4111)

# かると

## 冬のガーデニング講習会を開催します

クリンクルセンターは、高速堆肥化施設から作り出される堆肥を利用して、グリーンアドバイザーによる冬のガーデニング講習会を開催します。

▼月日 1月29日(明)・31日(水)  
(2回開催)

▼時間 14時～16時

▼場所 クリンクルセンター市民ギャラリー

▼対象 市内に居住する方

▼定員 各日30人(申込順)

▼参加料 無料

▼内容 冬のガーデニング

▼持ち物 筆記用具、メモ帳

▼申し込み 電話で環境資源課(クリンクルセンター内 ☎29558)

## 初心者スケート教室 参加者募集

文化・スポーツ振興財団主催

▼日時 1月27日(土)・28日(日)  
8時

▼場所 青葉スケートリンク  
(桜木町4丁目)

▼対象 市内に居住または通勤・通学する小学生以上の方

▼受講料 200円(傷害保険料を含む)

▼持ち物 スケート靴(種類は自由)



## 納められましたか!

市・道民税(第4期)  
国民健康保険税(第7期)の  
納期限は1月31日(水)です

忘れずに納めましょう。市税の納入には、便利な口座振替制度もありますので、ご利用ください。

▶問い合わせ

税務課 ☎1155  
保険年金課 ☎1771

▼申込方法 1月6日(土)から20日(日)の9時から17時までに電話でお申し込みください

※受講料は1月20日(土)までに総合体育館へ持参してください。

▼申し込み 総合体育館 ☎5552

## 郷土資料館体験学習 はたおり体験参加者募集

草木染めをした毛糸でコースターを作ってみませんか。

▼日時 1月27日(日)  
10時

▼場所 文化伝承館(郷土資料館横)

▼定員 30人(申込順)

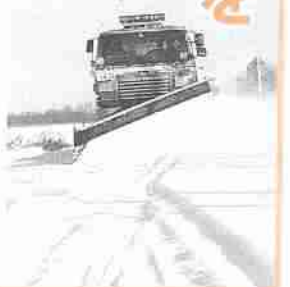
▼参加料 小・中学生:無料、大人:100円

▼申し込み 1月6日(土)から電話で郷土資料館 ☎1339



## 快適な冬を過ごすために 除雪作業にご協力を

今年も本格的な雪の季節がやってきました。市は、安全な冬道を確保するため、除雪作業を行っています。除雪作業をスムーズに進め、快適な冬を過ごすことができるよう、みなさんのご理解とご協力をお願いします。



### 路上駐車をしない

たった1台の路上駐車のために、除雪車が前に進めず除雪ができなくなったり、作業が遅れたりすることがあります。また、救急車や消防車など、緊急自動車の通行の妨げになることもありますので、路上駐車はやめてください。

### 道路に雪を出さない

除雪車が通った後の道路わきに残った雪を道路に出すと、交通障害や夜間の路面凍結など、交通事故の原因になることがあります。除雪後に家の周りなどに置かれた雪を道路に出さないよう、みなさん

### 障害物は除雪前に撤去を

車が出入りしやすいように、車庫の前や車道のふちに置いてある鉄板や木材などは、除雪車を破損させたり、除雪作業を妨げたりするので、取り除いてください。

### 除雪車に近づかない

除雪作業中は大変危険ですので、除雪車に近づかないでください。また、除雪車に子どもを近づけないよう注意してください。

▼問い合わせ 土木課 ☎3260

## 1月10日は「110番の日」です

### 110番の正しいかけ方

- 1 何があったのか  
交通事故、どろぼう、けんか
- 2 いつ、どこで、現場の目撃は  
たった今、〇〇ビルの前
- 3 事件・事故のあらまし  
事件・事故の様子、けが人はいるか
- 4 犯人は  
だれか、人数は、服装、人相、逃げた方向、逃げた車の色・ナンバー、特徴は
- 5 あなたの住所、氏名、電話番号  
目撃者、頼まれた、事件・事故の関係者

※警察官が順にお聞きしますから、落ち着いたでお話してください。

▶問い合わせ 室蘭警察署

☎0110



## 中央省庁が変わります

平成13年1月6日(土)から政府が現行の1府22省庁から1府12省庁体制になります。

内閣府を新設し、いわゆる「縦割り行政」の弊害を排除し、内閣総理大臣の補佐機能を充実させます。

また、各府省に副大臣や大臣政務官を設置し、政治主導の政策決定を行いやすくします。

府	内閣府
省	外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省
省	警察庁
省	消防庁
省	防衛省
省	官庁舎

※詳しい内容は、中央省庁改革ホームページ <http://www.kantei.go.jp/>

## 無料法律相談

交通事故や金銭貸借、損害賠償、離婚などの法律問題について、札幌弁護士会室蘭支部の弁護士が相談をお受けします。相談を希望する方は事前にお申し込みください。なお、裁判や調停中の問題は相談をお受けできません。

### ◎鉄南ふれあいセンターでの相談

- ▶日時 2月17日(土) 9時30分～
- ▶場所 鉄南ふれあいセンター
- ▶担当弁護士 芝垣美男弁護士
- ▶定員 6人(申込順)
- ▶申込方法 電話で市民課にお申し込みください

### ◎弁護士事務所での相談

- ▶担当弁護士 芝垣美男弁護士
- ▶定員 6人
- ▶申込方法 1月31日(木)までに電話で市民課にお申し込みください
- ※相談日時については、市民課にお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ  
市民課 (TEL 1855)

jp/jp/cyuo-syochu/)に掲載していただきます。  
本部事務局 (TEL 03-3539-8920)

## 中央省庁再編以降も郵便局のサービスの取り扱いは変わりません

平成13年1月6日(土)の中央省庁再編以降も郵便局のサービスの取り扱いは変更はありません。

現在、みなさんがお持ちの切手や通帳、証書、キャッシュカード、保険証書などは、これまでどおりご利用になれます。

なお、郵便局では、1月6日(土)以降も「郵政省」または「郵政大臣」の表示のある用紙などを修正して使用することもありますので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

▼問い合わせ 登別郵便局 (TEL 011-277-1111)

## 健康相談・診査

保健福祉課 (しんた21内TEL 011-000)

### ◎健康相談

月日	受付時間	場所
2月1日(木)	10:00～	騎別公民館
2月2日(金)	10:00～	婦人センター
2月7日(木) 2月23日(金)	10:00～	しんた21

### ◎乳幼児健康相談

- ▼月日 2月28日(木)
- ▼受付時間 10時30分～11時
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 育児相談を希望する方
- ▼内容 育児・発達・育児などの相談、栄養相談
- ▼申し込み 事前に電話でお申し込みください

### ◎3カ月児・4カ月児健康相談

- ▼月日 2月22日(木)
- ▼受付時間 13時～13時30分
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成12年10月生まれのお子さん
- ▼内容 診察、身体計測、栄養相談、育児相談
- ▼持ち物 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

### ◎1歳6カ月児健康相談

- ▼月日 2月15日(木)
- ▼受付時間 12時30分～13時
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成11年7月生まれのお子さん
- ▼内容 診察、歯科検診、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談、フッ素塗布の予約
- ▼持ち物 母子健康手帳、お子さんの歯ブラシ

### ◎3歳児健康診査

- ▼月日 2月8日(木)
- ▼受付時間 12時30分～13時
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成10年1月生まれのお子さん
- ▼内容 診察、歯科検診、尿検査、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談
- ▼持ち物 母子健康手帳

クラス	対象	受付時間
ひよこクラス	平成12年6月生まれて第2子目以降のお子さん	10:00～ 10:30
もくもくクラス	平成12年6月生まれて第1子目のお子さん	12:45～ 13:00

- ▼月日 2月28日(木)
- ▼場所 しんた21
- ▼内容 身体計測、栄養相談、育児相談、遊びの紹介
- ▼持ち物 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

## 登別地方高等職業訓練校 平成13年度訓練生募集

▼募集訓練科目・定員など

訓練科目	訓練期間	訓練時間	定員	対象
木造建築科	2年間	9:00 ~ 17:00	各科 10人	中学卒業と同程度の学力を有する方
板金科				
建築塗装科				
建築設計科	2年間	18:00 ~ 21:00	70人	高校卒業と同程度の学力を有する方
OAシステム科	1年間		60人	
経理事務科				10人

※OAシステム科では、Windows98によるインターネットの利用方法のほか、スキャナーやデジタルカメラを利用した画像処理など実用的な指導を行います。

## 初心者英会話教室を 開催します

文化・スポーツ振興財団主催

▼月日 1月22日(木)・25日(土)・29日(月)・2月1日(木)・5日(日)

▼時間 18時30分~20時30分

▼場所 登別公民館

▼対象 市内に居住または通勤する

20歳以上の方(初めて受講される方に限りません)

▼内容 初級英会話(日常的な会話)

▼講師 ステイローブン・アスキューさん(登別市英語指導助手)

▼定員 20人(申込順)

▼受講料 500円

▼持ち物 筆記用具

▼申込方法 1月10日(水)から16日(火)の9時から17時までに(土・日曜日を除く)電話でお申し込みください

▼申し込み 文化・スポーツ振興財団(☎011-116)

## 冬道安全運転技能講習会の 参加者を募集します

登別自動車学校主催

▼月日 1月28日(日)

▼時間 10時~11時30分

▼場所 登別自動車学校(緑町1丁目1-2)

▼申し込み 1月27日(土)までに電話で登別自動車学校(☎011-2960)

## 介護保険料(普通徴収第3期)の納期限は1月31日(水)です

忘れずに納めましょう。介護保険料の納入には、便利な口座振替制度もありますので、ご利用ください。

### 問い合わせ

介護保険室 (☎011-5720) (FAX) 011-3293

## なるほど Q&A 介護保険

### 介護保険制度の仕組み

### 問い合わせ

介護保険室  
☎011-5720  
FAX 011-3293

Q 先日、介護保険制度の一部が変わったという報道を目にしました。どのような点が変わったのが教えてください。

A 平成12年12月1日から変わったことと、平成13年1月1日から変わったことがあります。

◎平成12年12月1日から変わったこと

●福祉用具貸与について

〔改正前〕車いすや特殊寝台の付属品は、本体と一緒に借りる場合、または、介護保険で本体を借りていた場合でなければ貸与を受けることができませんでした。

〔改正後〕自分で所有している車いすや特殊寝台と一緒に使うために、付属品のみを貸与を受けることもできるようになりました。

●住宅改修について

〔改正前〕屋内の工事に限られていました。

〔改正後〕玄関から道路までの通路部分など、屋外における改修工事も含まれることになりました。

◎平成13年1月1日から変わったこと

●短期入所サービスについて

〔改正前〕振り替えによる特例措置(訪問通所サービスの未利用分を短期入所の日数に振り替

える措置)の適用を受けた月の短期入所サービスの利用は、月2週間(14日)に限られていました。

〔改正後〕月2週間の制限が廃止され、特例措置の適用を受けた月の最大利用日数は、要介護度ごとに、次のようになりました。ただし、連続した短期入所サービスの利用は30日までとなっています。

なお、要介護5の方の本来の支給限度日数42日間については、連続使用が可能です。

要支援	6日/月
要介護1	16日/月
要介護2	18日/月
要介護3	24日/月
要介護4	27日/月
要介護5	30日/月

●施設入所者の食費について

〔改正前〕市民税課税世帯に属する施設入所者の食費は、1日780円となっていました。

〔改正後〕1日780円だったものが、1日780円に改定になりました。

なお、市民税非課税世帯に属する方、市民税非課税世帯で老齢福祉年金を受給している方については、それぞれ1日500円、300円が変わりません。



# 情報あら

## グリーンデータバンク

問い合わせ／都市計画課 (☎ 4115)

家庭で育てられなくなった庭木など(移植が容易なものに限る)を登録し、欲しい方に無料であっせんする制度です。

樹木を提供していただける方やあっせんを希望する方は、電話か市役所1階市民ホール、各支所に備え付けの申込書でお申し込みください。

また、グリーンデータバンクのご利用は市内に居住する方に限ります。

なお、樹木などの掘り起こしや引き取り、運搬は、受け取りを希望する方に行ってください。

詳しくはお問い合わせください。

### ゆずります

番号	名称	高さ	本数
1	クロマツ	約3㍍	1
2	モミジ	約3㍍	1
3	コウヤマキ	約4～5㍍	2
4	サクランボ	約1.2～3㍍	4

▼月日 2月2日(金)

『男性のための料理教室』開催  
～登別市食生活改善推進員協議会主催～

▼問い合わせ 旭北海道全調理師会  
室蘭支部 (☎ 2445) または  
室蘭保健所保健予防課 (☎ 9131)  
内線3657

▼月日 1月21日(日)

▼参加料 会員500円、一般1千円  
※当日、直接会場にお越しください  
▼問い合わせ 登別棋道連盟・杉本  
さん (☎ 12253)

▼時間 11時～(受け付け10時)  
▼場所 富士会館(富士町7丁目2-1)

第22回登別市長杯争奪  
新春囲碁大会  
～登別棋道連盟主催～

(☎ 2582)

調理師のみなさんへ  
就業届出をしてください

調理師法では、多数人に対して飲食物を調理して供給する施設または営業で調理に従事している調理師は、就業届出が義務づけられています。平成12年12月31日現在の就業状況を、1月15日(日)までに旭北海道全調理師会室蘭支部へ届け出をしてください。

▼時間 10時～12時30分

▼場所 登別公民館

▼対象 市内に居住する男性の方

▼定員 15人(申込順)

▼参加料 300円

▼持ち物 エプロン

▼申し込み 登別市食生活改善推進員協議会・熊谷さん

## 不用品ダイヤル市

お申し込み・お問い合わせは  
登別消費者協会 (☎ 8307)

火～金曜日(祝日・1/1月～1/8月を除く) 10:00～16:00

### ゆずります(売ります)

- たんず (130×180<sup>㍉</sup>・150×180<sup>㍉</sup>) ●食卓用いす (2脚) ●カップボード (170×180<sup>㍉</sup>・200×150<sup>㍉</sup>) ●テレホンラック (60×80<sup>㍉</sup>) ●ベビーバス ●ベビーハイチェア ●シングルベッド ●ダブルベッド ●室内用灯油タンク (20・90<sup>㍉</sup>) ●二槽式洗濯機 ●全自動洗濯機 (4.5<sup>㍉</sup>) ●冷蔵庫 (200<sup>㍉</sup>) ●ガス式給湯ボイラー ●ガス式オーブン ●大型ビデオカメラ ●パソコン (マッキントッシュ) ●パソコンプリンター ●プリントごっこ ●ファクス付き電話機 ●オイルヒーター (電気) ●チャイルドシート (幼児用) ●電子ピアノ ●電気オルガン ●電子オルガン ●カメラ ●スキー靴 (24.5・25<sup>㍉</sup>) ●ホッケースケート (27<sup>㍉</sup>) ●ハーフスケート (20・24.5<sup>㍉</sup>) ●フィギュアスケート (19<sup>㍉</sup>) ●自転車 (22<sup>㍉</sup>) ●マウンテンバイク (22<sup>㍉</sup>) ●オフロード用バイクブーツ (25.5<sup>㍉</sup>) ●一輪車 (20<sup>㍉</sup>) ●スタッドレスタイヤ (155-70R12) ●スパイクタイヤ (155-S R13ホイール付き2本) ●大型水槽セット (100×50<sup>㍉</sup>) ●ルームランナー ●かま式せいろ (2段) ●編み機 ●コム編み機

### ゆずってください(買います)

- 会議用テーブル (45×180<sup>㍉</sup>) ●双子用ベビーカー ●ベビーガード ●チャイルドシート (乳児用) ●除湿機 ●冷凍庫 ●扇風機 ●まきストーブ ●鉄瓶 (1.5<sup>㍉</sup>) ●キーボード ●フィギュアスケート (20・22・24.5<sup>㍉</sup>) ●自転車 (12・24・26<sup>㍉</sup>) ●マウンテンバイク (20<sup>㍉</sup>) ●オートバイ (50・400cc) ●ダブルテーブルカラオケ機 ●子ども用トランポリン ●ルームランナー (電動式) ●顕微鏡

## ほん

今月の新着図書

市立図書館  
☎ 654324

血の味



血の味

沢木 耕太郎 著

苦悶する<私>はなぜ人を殺したのか?著者が初めて書き出した長編小説。

鎖



鎖

乃南 アサミ 著

女性刑事の音道貴子。孤絶の空を舞台に、彼女の刑事人生は最大の危機に突入した。

### このほかに新しく入った本

- ◇私の好きな悪い癖 吉村 昭 著
- ◇八月の博物館 瀬名 秀明 著
- ◇麻婆豆腐の女房 吉永みち子 著
- ◇風の生涯(上・下) 辻井 喬 著

※図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。

▼温泉街を練り歩き、  
厄払いをする「湯鬼神」



▲登別温泉の源泉の一つ  
「登別地獄谷」



◀威勢のいい若衆たちに  
▼よる「湯かけ合戦」



## 閻魔大王の使者 『湯鬼神』が厄払い

效能あらたかな温泉の湯に感謝し、  
開運と無病息災を祈る登別ならではの  
冬の祭り「登別温泉湯まつり」が開催  
されます。

今年で30回目を迎えるこの祭りは、  
節分の夜に、閻魔大王の使者である赤  
鬼・青鬼の「湯鬼神」が温泉街を練り  
歩き、みなさんの厄を払うというもの。  
最終日には、下帯姿の威勢のいい若  
衆たちが豪快に湯を掛け合う「源泉湯  
かけ合戦」が行われます。

今年の節分は、家族そろって温泉で  
厄を払いませんか。

## 第30回 登別温泉湯まつり

- ▼日時 2月3日(土)・4日(日)
- ※詳細は18ページの「情報あらかると」  
をご覧ください。
- ▼場所 登別温泉・カルルス温泉
- ▼問い合わせ 登別観光協会

TEL 0142-22-1111

# と な り ま ち ・ ほ ッ ト ラ ン

### 白老町

白老の冬の風物詩「ポロト湖の  
ワカサギ釣り」にお越しください！

- ▶期間 1月6日(土)～3月15日(木) (氷の  
状態により変更の場合があります)
- ▶営業時間 早朝から日没まで
- ▶料金(予定) 中学生以上500円、小  
学生以下200円(シーズン券もありま  
す)

※氷の穴開け道具は無料で貸し出します。  
また、釣りざおセット、えさ、仕掛け  
などは売店で販売しています。

▶問い合わせ 白老2000年の森ポロトの  
森インフォメーションセンター

TEL 0144-6755

### 室蘭市

だんバラ公園スケートリンクで  
冬を満喫しませんか

室蘭岳山麓総合公園(だんバラ公園)  
のスケートリンクがオープンします。だ  
んバラ公園では、スケートのほかにも、  
スキーやソリ遊びが楽しめます。

広々とした自然の中、家族や友達とス  
ケートを楽しみませんか。

- ▶期間 1月7日(日)～2月18日(日)
- ※天候により変更となる場合があります。
- ▶時間 10時～16時
- ▶リンクコンディションなどについての  
問い合わせ 室蘭市公園管理事務所  
TEL 4865

### 伊達市

農業に情熱をかける青年と  
お見合いをしてみませんか

伊達市では、市内で農業経営に携わる  
青年の花嫁候補としてお見合い相手を募  
集します。農業青年の方はちょっと内気  
ですが、気持ちのまっすぐな好青年ばか  
りです。野菜や花など農業に興味のある  
方や恋人の欲しい方はお気軽に応募して  
ください。

- ▶募集対象 30～45歳くらいの独身女性
- ▶問い合わせ 伊達市農村結婚相談所  
(伊達市農務課内) TEL 0142-3333  
1内線334、JA伊達市営農相談課  
TEL 0142-2181